æ

理 論 懇 ニ ュ ー ス

発行：　理論天文学懇談会事務局　（名古屋大学物理Ａ研内）

telephone 052-781-5111 ex. 6693　　telefax 052-782-0647

９２−２号

1996 June 10

理論懇運営委員会 $(5/13)$
理論懇総会 $(5/14)$

天文学会春季年会（大阪学院大学）の期間中に、運営委員会と総会が開かれました。両方まとめて報告します。

選挙規定

９１−１号のニュースでもお知らせしたように、今年１月の研究部員選挙では２位と次点１位の候補者の得票が同じでした。同票の場合については選挙規定がはっきりしていなかったので、確認をしました。国立天文台や基研へ委員を推薦する選挙で最下位当選者と次点の得票が同じ場合は、運営委員会（実質的には運営委員長）がどちらの候補を当選とするか定めます。［注：運営委員選挙の場合は、同票ならば委員の定数を１増やして両者を当選としています。］

長期計画小委

天文研連は下部組織として長期計画小委を発足させました。２１世紀の天文学について予測と勧告を行うのが小委の目標で、日本版 Bahcall 委員会 (see, e.g., Physics Today April 1991) と考えて差し支えないそうです。理論関係の委員は、杉本・荒船・高原の各氏です。理論懇シンポジムなどの場を通じて、理論懇会員からの意見させたいそうです。

計算機

国立天文台の計算機の将来計画について説明がありました。詳しくは、「国立天文台計算機システムの将来像」（総合計画委員会計算機ワーキンググループ報告；国立天文台発行）を読んで下さい。パンフレットは天文台が配布しています。

科学研究費総合研究（Ａ）の申請

昨年来、理論懇では総研（Ａ）の応募を積極的に行うよう議論してきました。今年度（科研費としては平成５年度）は、都立大学の高原氏と国立天文台の池内氏が代表者となって、それぞれ高エネルギー天文学と宇宙論で総研（Ａ）を申請することとなりました。これらの総研は採択されれば、一部、理論懇シンポジウムの開催のためにも使われる予定です。

このように理論懇が総研（Ａ）の申請を推進するのは、決して他の申請を制限するためではありません。この２件の他にも、理論関係で多くの総研（Ａ）が申請されることを期待します。また、先の２件の他でも代表者となって理論懇の活動のために総研（Ａ）を申請してもよい方があれば、運営委員長（高原）または事務局（花輪）までご連絡下さい。

研究交流委

研究交流委員会（海部委員長）宛に、共同利用の促進のために、旅費の増額と設備（研究室および宿泊設備）の充実を求める要望書を提出することを決議しました。要望書は５月２１日の研究交流委員会に間に合うよう提出されました。

電子メイル

理論懇会員に電子メイルで連絡ができるように、天文台の綾仁さんにお世話をお願いしました。相当に時間の掛かった仕事でしたので、理論懇からアルバイト代として２万円払って感謝することとしました。

新入会員紹介

高橋 広治　京都大学宇宙物理学教室

森田 一彦　北海道薬科大学

柴田　　大　京都大学物理第２天体核

文責　花輪 知幸